

登録コード	L1621100	開講年度	2026				
担当教員	岡本 卓也			副担当			
授業科目	社会心理学概論Ⅰ【EA】(社会・集団・家族心理学)						
英文授業名	Social Psychology: IntroductionⅠ						
授業タイトル	社会心理学概論Ⅰ(社会・集団・家族心理学)						
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	金曜・2時限
講義室			遠隔授業科目	該当	読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前カリ対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			⇔	社会心理学の研究知見に対する知識を獲得し、社会を分析・理解する際に役立つ基本知識や心理学的概念について理解することができるようになる。これにより、自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力が身につくようになる。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士(文学)の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	身の回りのありふれた事柄や出来事について、社会心理学の研究知見に基づいて、科学的で独自の視点から考えることができるようになる。これにより、人文学部人文学科の学士(文学)の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身につくようになる。		
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	社会心理学概論Ⅰでは、「社会的態度」、「対人関係」、「集団現象」、「家族関係」という4つのテーマを中心に解説する。具体的な事例を多く取り上げ説明していく予定ではあるが、その背後にある人間行動のメカニズムや、社会心理学の考え方を理解し、それらの知識を自分の普段の生活にも生かせるようになることを目指す。						
授業計画	第01回：社会心理学とは 第02回：社会的自己1--自己評価 第03回：社会的自己2--自己制御 第04回：社会的認知 第05回：社会的態度・態度変容 第06回：コミュニケーション 第07回：対人関係1--関係の構築 第08回：対人関係2--関係の崩壊 第09回：対人葛藤 第10回：援助行動 第11回：ソーシャルサポート 第12回：社会的影響 第13回：集団過程 第14回：集団間関係 第15回：家族心理学・授業アンケート なお、本講義は遠隔授業（オンデマンド授業）です。毎週月曜日に解説動画をeAlpsにアップします。また、金曜2時限目は質問専用のオンライン授業日とします。						
成績評価の方法	授業中に提出してもらうショートレポート（30%）および期末試験（70%）によって、社会心理学の基本的な概念や理論の理解度を評価する。						
成績評価の基準	ショートレポート、ミニテストおよび期末試験の評価については、 1.社会心理学の理論や知見を理解できているか 2.理論や知見に関連する学説がきちんと把握できているか 3.理論を正確に理解出来ているか 4.理論を理解し具体的な問題と関連づけられているか 5.理論を踏まえ、独自の視点で日常生活の事象を考察できるか 1から5までの5項目を満たしていれば「卓越している」、4項目なら「かなり上にある」、3項目なら「やや上にある」。2項目なら「その水準にある」とする。						
事前事後学習の内容	社会心理学の講義で取り扱うトピックは、ニュースやその他のメディアでも取り上げられるものが多い。日常的にそれらの情報に注意を向け、関連する事例については、詳細な情報を収集し、授業で得た知識や参考書を元に論考すること。						
履修上の注意	半年間の講義を通して体系的に学習することを目指すので、順番通りに定期的にオンデマンド動画を視						

履修上の注意	聴すること。そのうえで積極的にZoomによる質疑応答時間を活用してほしい。また、受講生が講義内容について自らの問題として捉え、質問時間に積極的に質問をすることを求める。 本授業では生成系AI（ChatGPT等）の利用を禁止しない。ただし、「思考の代行」としてではなく、「学習補助」としての利用に限定する。具体的には、文章の推敲、文献・事例の探索等に用いるにとどめ、自分の主張の核（問い、立場、論証）は必ず自分の頭をつかって構築すること。また、AIが提示した参考文献や知見には誤りが含まれる可能性がある。したがって、レポート等で論拠として挙げる文献については、AIの要約や二次情報のみに依拠せず、必ず原典（一次資料）を自分で入手して通読し、内容を理解した資料のみ引用・参照を認める。その上で、生成系AIを利用した場合は、利用箇所・用途を明記すること。以上（主張の中核を自ら構築すること、原典確認、利用箇所・用途の明記等）を満たさないまま提出したことが確認された場合、減点の対象、または不正行為として取り扱う場合がある。
質問、相談への対応	火曜の昼休みをオフィスアワーとするが、それ以外にも、メールで連絡をしてもらえれば、個別に対応する。連絡先については、初回の授業中に伝える。
教科書	特に指定しない。
参考書	北村英哉・内田由紀子(2016). 社会心理学概論, ナカニシヤ出版(978-4779510595, \3780). 池上知子・遠藤由美(2024). グラフィック社会心理学 第3版, サイエンス社(978-4781916101, \2970).